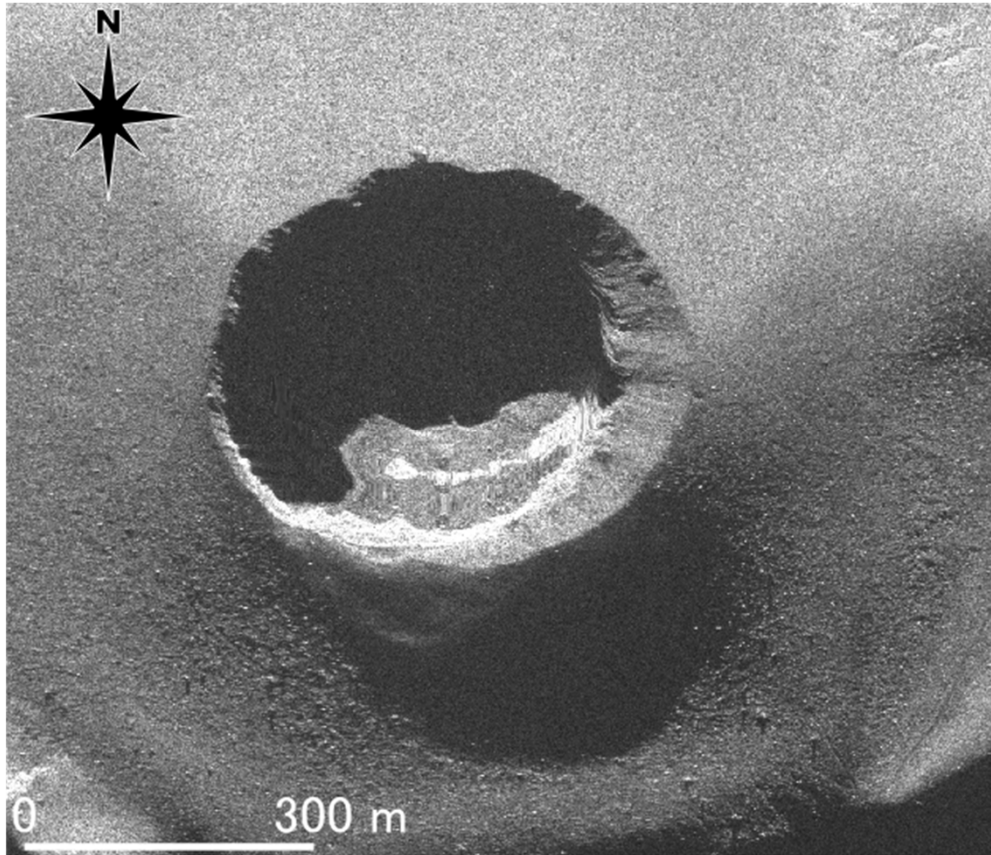


浅間山の航空機SAR観測について

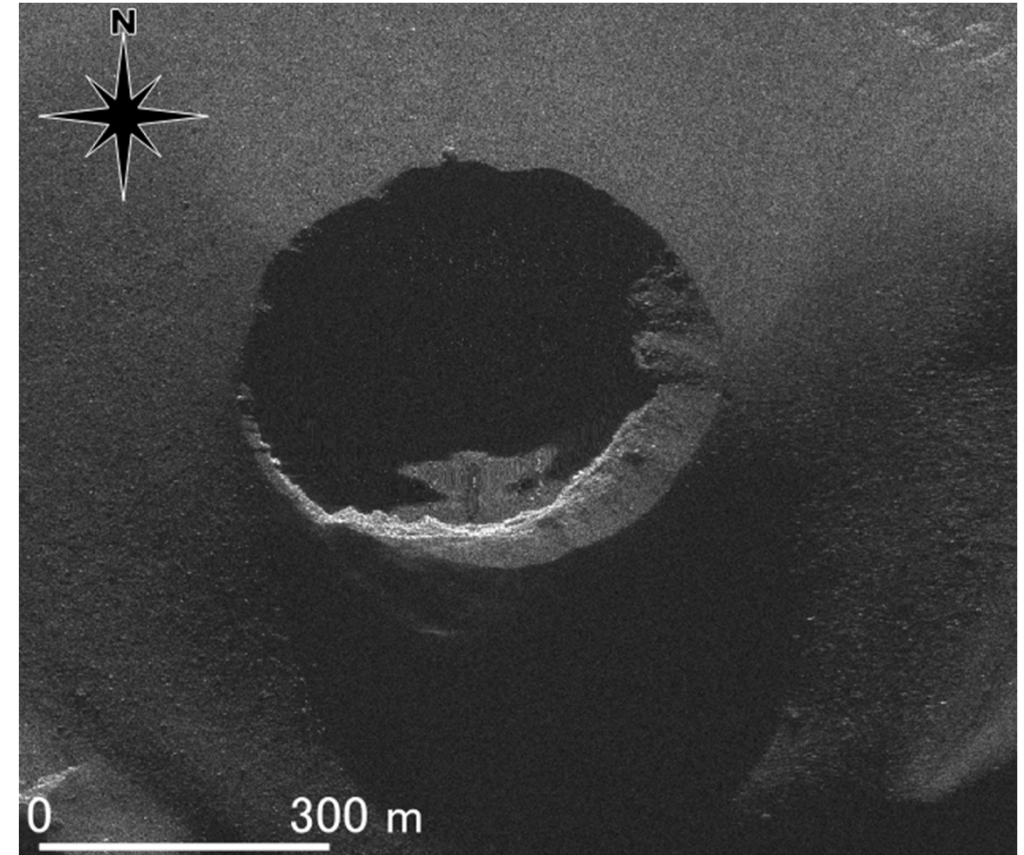


- 国土地理院は、令和元年8月8日、測量用航空機くにかぜⅢに搭載したSARを用いて浅間山周辺の観測を行った。
- 高度約4600m、オフナディア角75度で、8方向（北・北東・東・南東・南・南西・西・北西）から観測した。
- 平成30年6月22日に観測したSAR画像（オフナディア角70度）との比較画像からでは、明示的な地形変化は確認できない。

浅間山 航空機SAR画像の新旧比較（北側から観測した画像）

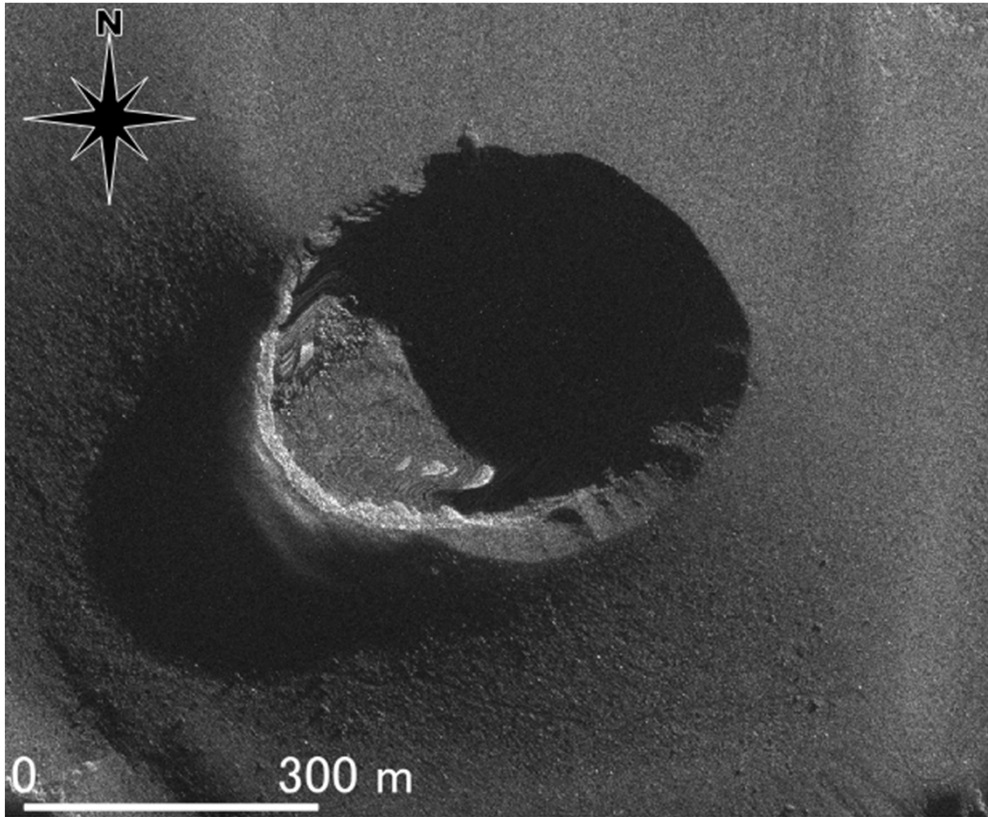


平成30年6月22日国土地理院観測
(オフナディア角70度)

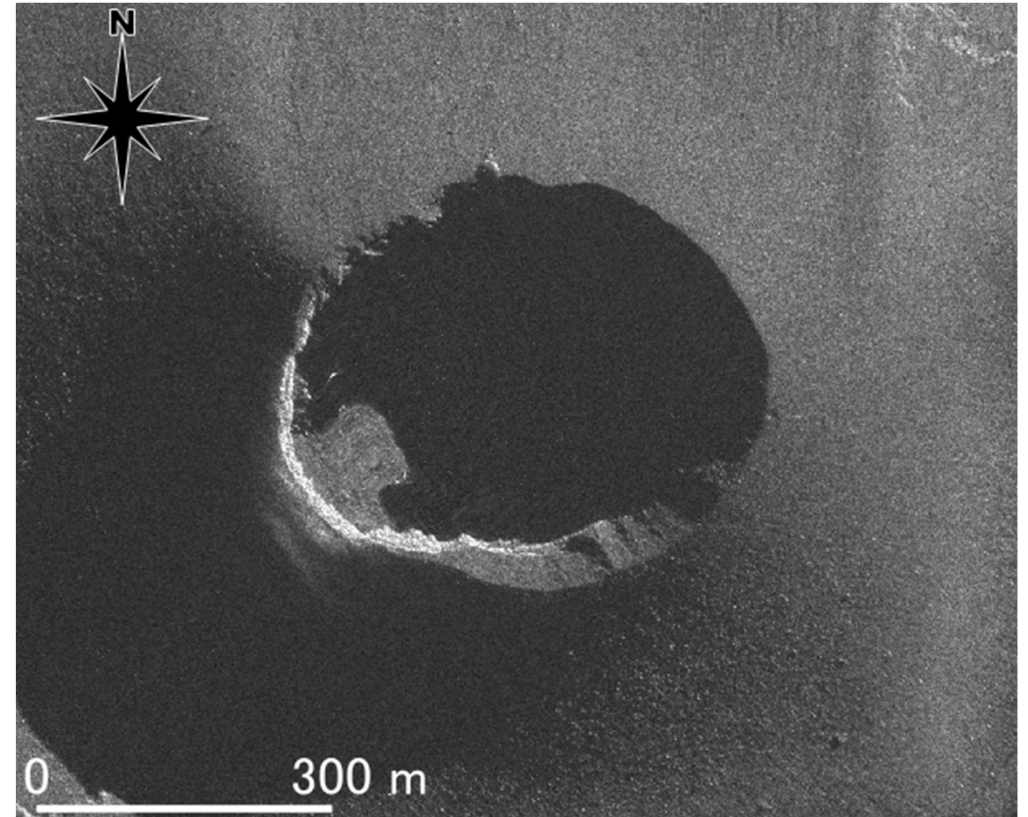


令和元年8月8日国土地理院観測
(オフナディア角75度)

浅間山 航空機SAR画像の新旧比較（北東側から観測した画像）



平成30年6月22日国土地理院観測
(オフナディア角70度)



令和元年8月8日国土地理院観測
(オフナディア角75度)